



北海道



北海道スタートアップスタジオ

Number 1

2023年11月30日

真逆の発想で、ベビーシッター文化の浸透を阻む「3つの抵抗感」を減らす
ママの外出に付き添う専門ベビーシッター

北海道庁主催のスタートアップ創出プロジェクトにて選抜！

新しいコンセプトのベビーシッター事業「ママの外出に付き添う専門ベビーシッター」が、2023年11月27日に、北海道庁主催のスタートアップ創出プロジェクト「北海道スタートアップスタジオ ADVANCED PROGRAM」※の最終選考を通過し、選抜されました。

※北海道庁詳細ページ: <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sus/hokkaido-startup-studio.html>

当事業は、北海道を発祥として全国へ展開することを目標に、既に札幌市内でサービスを提供しながら独自価値について検証している段階です。

増加する共働き世帯やシングルマザーだけでなく、心身ともに疲弊する多くのママ・パパの新たな選択肢として広く認知していただくために、皆さまのお力をお借りできますと幸いです。

【 ママの課題 】

仕事やリフレッシュなど、ごく普通の欲求を満たすため、家族や保育施設に頼りたいけれど、下記の4つの壁により十分に頼ることができず、行き詰ってしまう。

- | | |
|----------------|----------------------|
| ① 夫や祖父母の壁 | … 物理的、精神的に頼れない |
| ② 保育施設・保育士不足の壁 | … 施設や保育士の不足、立地、兄弟の通園 |
| ③ 保育料の壁 | … 無償化対象外の月齢、その他サービス料 |
| ④ 制度 | … フルタイムで働く家庭が優先 |

【 保育士・ベビーシッターの課題 】

- ① 保育士資格保持者は年々増加しているものの、給料や労働環境を理由に保育施設への就職を望まない保育士が増えており、フリーのベビーシッターとしての活動に注目が集まっている
- ② 一方で、多くのママが経済的な理由に加え、次のページの「3つの抵抗感」からベビーシッターサービスを預け先の候補から外すため、供給に対し需要が伸びにくい

【 ベビーシッター文化の浸透を阻む「3つの抵抗感」 】

1. 世間や家族の目
2. 自宅に他人を呼ぶ抵抗感
3. 他人に大切な子供を預けてその場を離れる抵抗感

【 「3つの抵抗感」を減らす真逆の発想 】

「自宅」×「子供と離れる」ことに抵抗があるなら、

「外」×「子供と一緒にいる」前提のベビーシッターはどうだろう！？

- ➡ 子供と離れなくてもママたちの課題を解決する手段に
- ➡ 従来のベビーシッターより周囲の理解が得られやすい



【 利用シーン 】

職場、ショッピング、美容室、ジム、カフェ、ママ友との食事、病院、公園など

【 課題解決 】

当事業の拡大とともにベビーシッターサービスが文化として受け入れられることで、ママ・パパがより働きやすく、子育てしやすくなる。さらには、2人目、3人目の出産に繋がるなど、少子化対策の一助になる。

▶ 代表 | MISA / 櫻澤 美紗 (さくらざわ みさ)



埼玉県出身、北海道札幌市在住。3歳と1歳の子供を育てながら、「女性の自由」をテーマに、副業やフリーランスの立ち上げや仕組化に特化したビジネスコンサルタントとして活動している。



プロフィール詳細

<経緯>

2023年5月に、1人の保育士よりフリーのベビーシッターになりたいという相談があり、当事業を考案。転勤とその前後の出産により、長い間子供2人の預け先に困り、もどかしい思いを抱えながら仕事を続けてきた自身のためのサービスでもある。ヒアリングやお試しいイベントを通じて、確かな需要を感じ、ますます全国展開への意欲が高まっている。

<お問い合わせ>

TEL: 070-8375-5641 MAIL: contact@livefreeeely.com